

酸素透過性ハード及び  
ハードコンタクトレンズ用  
汚れ検査試液

# みる ケアチェッカー

禁点眼

## 特長

- ・約30秒でレンズに付着したタンパク質、ムチン、脂質などの広範囲の汚れを確認することができます。
- ・汚れを染色した色はコンタクトレンズ用洗浄保存液や洗浄液で簡単に洗い落とせます。

## 用途

酸素透過性ハード及びハードコンタクトレンズの汚れを検査します。

## 使用目的（効果）

レンズを清潔に保ち、汚れによる装着感の不調や眼障害の予防に役立ててください。

## 使用方法

裏面をご覧ください。

## 対処方法

レンズ表面に汚れが付着している場合、裏面の対処方法を参考にして汚れの状態・程度を判断し、適切な処置を選択して下さい。

## 使用上の注意

- ・絶対に点眼、服用しないで下さい。誤って目や口に入った場合は、すぐに水道水で洗い流し、医師の診断を受けて下さい。
- ・ソフトコンタクトレンズには絶対に使用しないで下さい。
- ・使用可能レンズ以外のレンズには使用しないで下さい。
- ・検査試液が衣服に付着した場合は跡が残ります。絶対に衣服に付かないように注意して下さい。  
誤って、衣服に付着した場合はすぐに水洗いをして下さい。その後洗濯かクリーニングをして下さい。
- ・検査試液が手に付くと取れにくい場合があります。注意して取り扱って下さい。  
誤って、検査試液が手に付いた場合はすぐに石鹸を使って洗い流して下さい。
- ・検査試液を直接洗面台や流しに流すと、墨や墨汁を流したような汚れが付くことがあります。その場合、すぐに洗剤等で洗い落として下さい。
- ・検査試液がこぼれてもいいように、洗面台、流しなどの水の流せる場所で使用して下さい。
- ・開封後は蓋をしっかりと締め、直射日光を避け、小児の手の届かない涼しい場所に保存して下さい。
- ・検査プレート以外の容器で検査しないで下さい。
- ・左右のコンタクトレンズを同時に検査すると、判定するとき見にくくなりますので、メガネを用意するか、一枚ずつ検査して下さい。
- ・レンズケースには左右がありますので、よく確認して間違えないようにして下さい。
- ・検査時間は約30秒なので、必要以上に長く浸けしないで下さい。長く浸け過ぎますと(30分以上)、レンズ全体が青く染まる場合があります。このような場合は、洗浄保存液や洗浄液でよく洗浄して下さい。  
もし、それでもレンズ全体が青いようであれば、再度洗浄保存液や洗浄液でよく洗浄した後、同液に一晩浸漬して下さい。翌日、レンズ装用前に水洗いして元の状態に戻っていることを確認して下さい。
- ・定期的に検査を行う場合は、1日のレンズ装用終了後が望ましいですが、レンズ装用中、汚れが気になった場合は随時ご使用下さい。
- ・検査後レンズを装用する前に必ず洗浄保存液や洗浄液でよく洗浄してから装用して下さい。
- ・使用頻度は1週間に一度を目安にご使用下さい。
- ・汚れの種類(カルシウム塩など)によっては、染まらない場合がありますので、ご注意下さい。
- ・本品の使用により、万一異常を感じた場合は、使用を中止し、医師の診断を受けて下さい。
- ・有効期限の過ぎた商品は絶対に使用しないで下さい。

## 主成分 塩基性色素

N E T. 17ml [両眼18回、約4ヶ月分(週1回の検査で1枚につき7滴使用時)]

■本品は、レンズ表面に付着した汚れの有無を簡単に検査するものです。

必ず使用方法・使用上の注意をよく読んでご使用下さい。

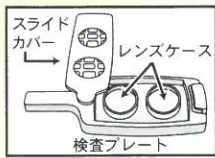
発売元  
株式会社 **サンコンタクト**  
京都市中京区麩屋町通り  
夷川上ル475  
TEL 075 (221) 6861



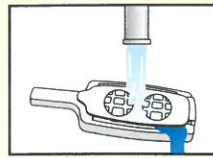
## 使用方法

### 注意事項

- ・ 検査試液が手に付いた場合はすぐに石鹸を使って洗い流して下さい。
- ・ 絶対に衣服に付かないよう注意して下さい。

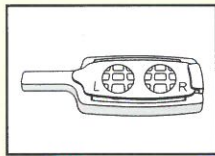


①洗面台や流しなどの水の流せる場所に検査プレートを置いて、スライドカバーを開けて下さい。

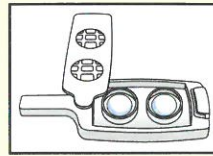


⑤約30秒経過したら、スライドカバーの穴に水道水を注ぎ、検査試液を洗い流して下さい。

※検査試液が飛ばないように注意して洗い流して下さい。



②レンズケースの左右を確認してから、レンズを洗浄した後凹面(∪)が上になるように入れ、スライドカバーを閉めレンズが落ちないようにして下さい。

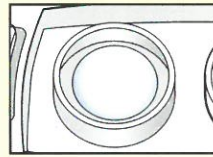


⑥検査プレートを軽く振り、レンズケース内の水を切ります。スライドカバーを開けて、そのままの状態でのレンズの汚れを確認して下さい。

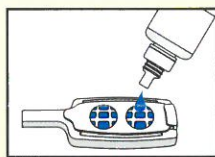


③検査試液容器の青い蓋を開けて下さい。

※蓋は2重構造になっていますが、下側の白い蓋は絶対に開けないで下さい。

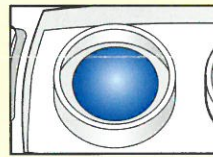


⑦「染まらない」  
＜レンズに汚れはありません＞  
レンズを洗浄保存液や洗浄液でよく洗い、レンズ保存ケースに収納して下さい。



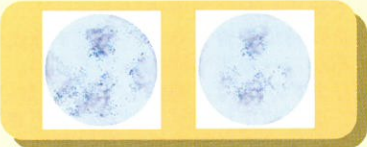



④スライドカバーの穴から検査試液を網目の下ぐらいまで(約7滴)入れ、約30秒間待ちます。

※スライドカバーより多く入れると、手や衣服を汚す恐れがありますので、注意して下さい。



「青く染まる」  
＜レンズに汚れが付着しています＞  
対処方法を参考に、汚れの状態・程度を判断し、適切な処置を行って下さい。

## 対処方法

判定	代表的な汚れ	対処方法
軽度な汚れ		洗浄保存液や洗浄液で、汚れ部分を丁寧にこすり洗いして、汚れを落として下さい。
特殊な汚れ		通常の洗浄方法では落ちにくい汚れが付着しています。コンタクトレンズが眼に合わなくなったために汚れが付着しやすくなっている可能性があります。できるだけレンズ装用を避けて、眼科医にご相談下さい。
強固な汚れ		通常の洗浄方法では落ちない汚れが付着しています。汚れによる眼障害の恐れがあるので、レンズ装用を避けて、眼科医にご相談下さい。
強酸・強アルカリのケア用品による影響 (24時間以上浸漬した場合)		表面状態が変化したため、レンズ全体が青く染まり、色が落ちなくなります。このような場合は、新しいレンズにお取り替え下さい。